

保守主義者は反学問的なのか？

政治と科学に関する意識調査より

京都大学 太郎丸 博

1 学問は政治化しているのか？

近年、政治的な保守主義と学問との対立が目につくようになってきている。このような特定の政治的な党派と科学／学問の対立を科学／学問の政治化というが、米国では 1980 年代頃からこの科学の政治化が大きな問題になっている。日本でも歴史修正主義や安保関連法案をめぐる、歴史学者や法学者と安倍政権の周辺のあいだに対立があったことは記憶に新しい。

米国でこのような科学の政治化が生じていることは、調査結果から明らかであるが (eg. Gauchat 2012, Hmielowski, et al. 2014)、日本で米国と類似の現象が起きているかどうかははっきりしない。米国で科学との対立が深刻なのは、進化論やビックバンを否定する宗教色の強い保守主義者であるのに対して、日本で歴史学や法学の研究成果を否定している人々は宗教色が弱く、安全保障をめぐる対立が前面に出ている印象である。また、米国では自然科学が批判されているのに対して、日本では人文学が批判されており、科学／学問の政治化といっても、日米で状況は異なっているように思える。

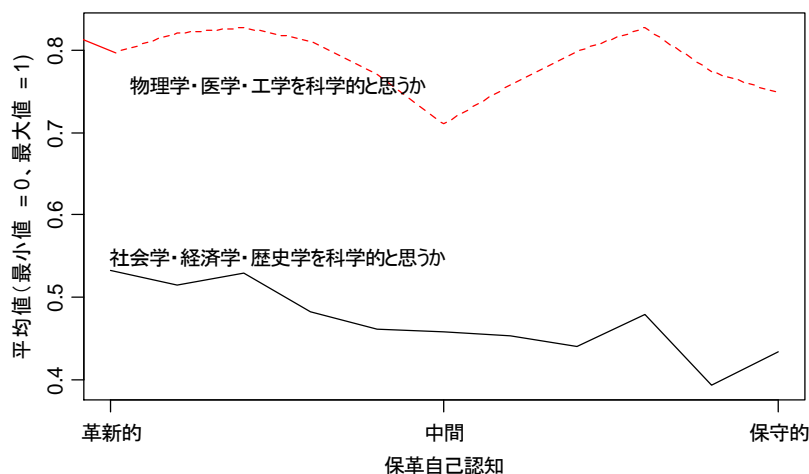
この研究では、一般の人々を対象にして、政治的な態度と各種の学問分野に対する信頼や肯定度のあいだに関係があるのかどうかを明らかにしていく。

2 データ

政治と科学に関する意識調査を用いる。この調査のサンプルは 2016 年 2 月にインターネット調査会社のモニター (20~69 歳の男女) から層化抽出されており、性別、年齢に関しては 2015 年の総務省の人口推計に近似するように、学歴に関しては 2010 年の国勢調査に近似するように層化されている。有効サンプル・サイズは 1752 で、回収率は 29.7%であった。

3 結果

右の図は、物理学、医学、工学、社会学、経済学、歴史学を「どれぐらい科学的だと思うか」を 7 点尺度で尋ね、自然科学と人文社会学にわけてそれぞれ足し合わせた結果である ($\alpha = .88, .84$)。横軸は保守自己認知 (11 点尺度) である。自然科学を科学的と思うかどうかは自分を保守と考えるかどうかとはあまり関係ないが、人文社会科学に関しては自分を保守的だとみなす人ほど科学的だと評価しない傾向が見られる。



4 結論

この他にも幾つかの観点から科学学問に対する信頼や評価を尋ねているので、詳細は当日論じる。

文献

- Gauchat, G. 2012. "Politicization of Science in the Public Sphere: A Study of Public Trust in the United States, 1974 to 2010," *American Sociological Review*. 77 (2): 167-187.
- Hmielowski, J. D., et al. 2014. "An Attack on Science? Media Use, Trust in Scientists, and Perceptions of Global Warming," *Public Understanding of Science*. 23 (7): 866-883.